

Photo & Text = Takaji Ochi
Model = Kaoruko Inou
Special Thanks = BLUE CORAL
Design = Yoshiko Murata

Cebu Boljoon

セブ島ボルホーン

BLUE CORAL 南セブ支店 始動！

南北に細長いフィリピンのセブ島。

島の全長は約225km。

今同島の南に注目が集まっている。

その中心は、オスロブの

ジンベエザメダイビング。

天候さえ良ければ、

ジンベエ遭遇率ほぼ100%の

オスロブの海まで

車で約30分のところ、

ボルホーンという町に、

2013年 BLUE CORAL 南セブ支店が
オープン。

ナイトロックも導入して、

本格的に日本人ダイバーの

受け入れをスタート。

今回、この南セブ支店に滞在して、

オスロブ、スミロン、バリカサグ、

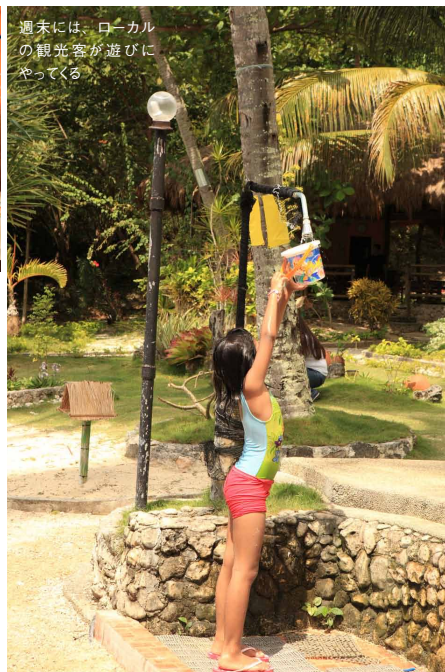
そしてボルホーンの

ハウスリーフを潜った。





フロントにあるセブの地図でどこにいるのかを説明するBLUE CORALのヒロさん



週末には、ローカルの観光客が遊びにやってくる

コテージは、こじんまりしていて可愛い色彩。オーシャンビューの2棟には、冷蔵庫も完備



レストラン&バーから、穏やかな海を眺める。何も無い贅沢を感じる



海に面した山に囲まれた 小さなナチュラルリゾート

BLUE CORALが南セブ支店をオープンしたボルホーンは、本店のあるマクタンから車で約2時間半。南北に長いセブ島の南東岸に位置する。支店があるのは、海まで張り出した山と山に挟まれたクラブフォートメッドという小さなナチュラルリゾート。週末には、ローカルの観光客が、家族連れで海水浴を楽しみにやってくる。とは言っても、クーラー、温室シャワーは全

室完備。

今までであれば、飛行機で到着すると、マクタンの空港近くのホテルに宿泊。翌日早

朝に車で3時間かけてオスロブヘジンバダイブという感じだったけど、到着した夜の内に、車でボルホーンまで移動して宿泊できるようになったので、朝は結構のんびりスタートできるようになった。

敷地内は緑の芝生に覆われている。決して高級とは言えないリゾートだけど、こういうフィリピンの田舎チックな雰囲気は悪くない。夜はどこにも遊びに行けるよ

うな場所も無いから、星空でも眺めてのんびりビールでも飲みながら過ごすスタイルだ。

海岸の目の前にある小さなレストラン&バーは、ダイビング後の憩いの場になっている。海風にたなびく色鮮やかなフラッグが並び、何も無い海の風景にアクセントを与えてくれている。その先に、BLUE CORALのダイビング用バンカーボートが停泊している。



Resort

セブ島ボルホーン BLUE CORAL 南セブ支店 始動！

密度の高いギンガメ
アジの群れに平行し
て泳ぐアオウミガメ。
こんなコラボが簡単
に楽しめる

バリカサグ！ギンガメトルネード+αの楽しみ

▶▶ Balicasag

セブ島ボルホーン BLUE CORAL 南セブ支店 始動！

2013 Summer [Cebu island Boljoon]

ocean+α

©ocean+α ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link
www.bluecoral.jp/shop_scebu.html

関連情報HPへ



激しく動かない群れだから、こんな風に群れとの記念撮影も簡単に撮れる



ギンガメの群れは、サンゴの上を舞うハナダイやスズメダイともコラボでちゃう

バリカサグで ギンガメアジの群れ！ + α

朝日の光を浴びて、鮮やかに海面に浮かぶ白い船体。側面にBLUE CORALの大きな文字の入ったバンカーボートに乗り込んで、まず目指したのは、バリカサグ島。ボートで約1時間弱。

セブやボホールからのダイビングエリアとしては、一番人気のポイントだ。

フラットで円形のバリカサグ島の周囲は全てダイビングポイントになっている。しかし、最近のお目当ては、群れの密集度

が高く、あまり逃げないギンガメアジの群れ。ブラックフォレストとサンクチュアリーというポイントの真ん中にあるブイ

にボートを付けてエントリー。まずは、島に向かって左手のサンクチュアリーエリアでギンガメアジの群れを搜索。ほとんどの場合、リーフエッジに塊となって渦を巻いている。しかも、海底ギリギリのところをゆっくり泳いでいるから、ここで狙うのは、ギンガメアジの群れだけでなく、プラスαで他の生物を入れ込んで撮影してみる。

ギンガメアジ+サンゴの上に群れるスズメダイ、ハナダイとか、偶然やってきたア

オウミガメとのコラボとか、沢山あるクマノミとイソギンチャクを絡めてみるとか。そんな事がコンデジでも簡単にできてしまう海。そんな海は、他にはなかなか見当たらないだろう。

サンクチュアリーもウミガメとの遭遇が期待できるけど、2本目で潜ったブラックフォレストのリーフに広がる海草を食べているアオウミガメの個体数

は、時に10個体以上。このエリアにギンガメアジの群れが移動してきたら、ウミガメとギンガメアジの群れのコラボの可能性も高くなる。そんな事を期待しながら流

れに乗ってドリフトを楽しむ。

少し流れてきた海中では、サンゴの上に、デバスズメダイやフィリピンズメダイ、レッドチークアンティアスなどが同じ方向を向いて美しい放物線状の陣形を作って泳いでいるのを見るだけでも飽きない。

さすが、フィリピンでも1、2を争う人気ダイビングスポット。何度でも潜りたくなる。



エントリーは、バンカーボートの船首からジャイアントストライドエントリー

セブ島ボルホーン BLUE CORAL 南セブ支店 始動！

» Balicasag

ホワイトラインブレ
ニーの上を舞うクロオ
ビスズメダイ



01/リゾート前のハウス
リーフポイント

02/ナイトでは甲殻類
が沢山姿を見せる

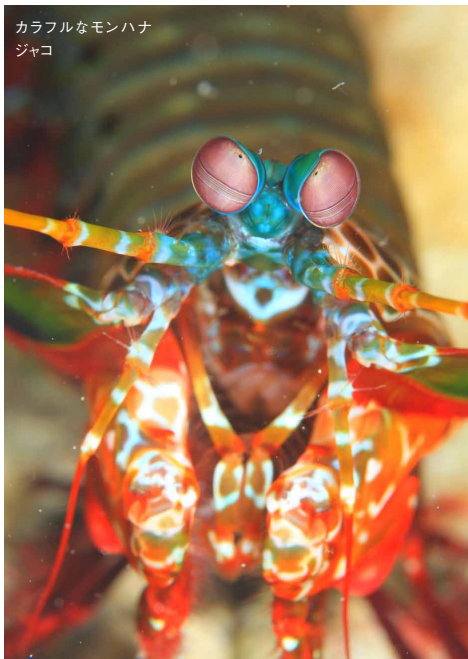
03/オレンジ色のムチ
カラマツエビ

04/フィリピンのアイド
ル、キャンディーケイン
ドワーフゴビー

05/形が可愛い、ミズ
タマサンゴ



カラフルなモンハナ
ジャコ



01



日が暮れ始めたリゾー
ト。ハウスリーフでの
ナイトダイビングも顔
白い

卵をかかえたオウラン
ヨウジのペア



04



ハウスリーフも堪能

1日目は、このバリカサグで3ダイブ。南セブ支店のあるクラブフォートメッドまで戻って、4ダイブ目は目の前のハウスリーフにエントリー。停泊したボートから入り、砂地とサンゴの続くスロープやドロップオフを、小さな生物たちを探してゆっくりと移動する。

決して珍しい生物がいるって訳ではないけど、青と黒のボディーがかっこいい、スプリングダムゼルや、天使の輪が可愛いローランドダムゼル、黄色い顔が鮮やかなタルボットダムゼル、ソフトコーラルに群れるヤマブキスズメダイなどのスズメダイや、イシガキカエルウオに似たトゥースポットブレニーも沢山いて、そんな小さな魚たちの表情を撮影しているとあっという間にワンダイブが過ぎてしまう。

ナイトで潜ると甲殻類系がワラワラと姿を見せるので、そういうのが好きな人にはおすすめかも。

でも、やっぱり、夜はビーをル飲んで、海風を感じつつ、満点の☆空でも眺めながらのんびり過ごすのも悪くない。



ダイビング後のログ付
けも、海見えるレス
トランで

セブ島ボルホーン BLUE CORAL 南セブ支店 始動！

» Housereef

ジンベエ遭遇率100%の オスロブへ

そして翌日、朝7時頃に朝食を済ませると、BLUE CORALのバンカーボートに乗り込み、さらにセブ島を南下すること約1時間。ジンベエザメの待つオスロブへ。

自分は、すでにこの海には20回以上訪れているけど、1度もジンベエザメに遭遇できなかった事がない。遭遇率100%

を維持している驚異的な海だ。漁師による餌付けが行なわれているからという理由もあるが、特にジンベエザメを

囲っているわけではないので、逃げようと思えばいくらでも好きな場所へ行けるのに、彼らはここに留まっている。

自分してみれば、ジンベエザメがビーチから数十メートルのところに泳いでいるのが、オスロブでの当たり前の風景になってしまっている。初めの頃は、「ジン

ベエ、今日はいかな、いかな」とそわそわしながら様子を伺っていたけど、今では、到着してジンベエがいるかどうかの不安すら感じていない。

だって、そこに当たり前にいるから！せいぜい、「今日は何匹いるのかな？」と個体数を気にする程度。ジンベエの姿を見ても、慌てず騒がず、ゆっくりダイビングの準備をしてエントリー。少し泳げば、漁師のカヌーから餌をもらうジンベエザメたちが、ほぼ立ち泳ぎ状態で口をぱくぱくさ

せながら、捕食を続けている。

多いときには、16匹が一度に姿を見せてくれたこともある。過去、一番多くジンベエザメを一カットの写真に納められた個体数は8匹！これがどれだけ凄いことかわかりますか？



シーズンによっては、こんな海草の上を泳ぐジンベエザメも撮影できる



動かずに、立ち泳ぎして、餌を捕食しているから、簡単にジンベエザメと一緒に泳ぐことができる

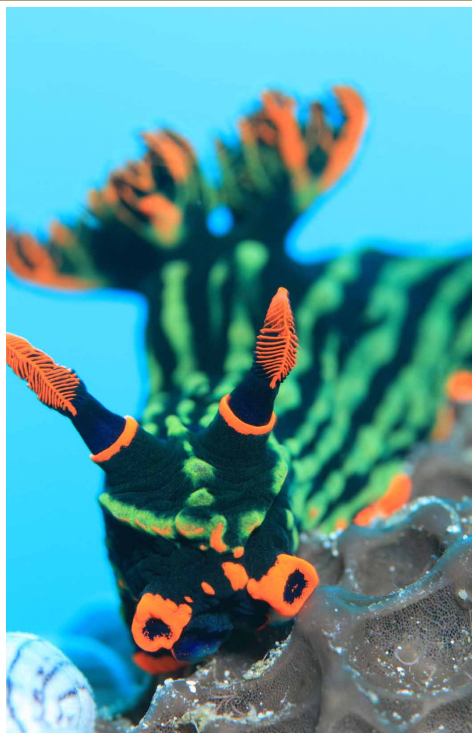


水面では、カヤックに乗った漁師が、オキアミを与えている

セブ島ボルホーン BLUE CORAL 南セブ支店 始動！

Oslob

良く見かけるアカフチ
リュウグウミウシ



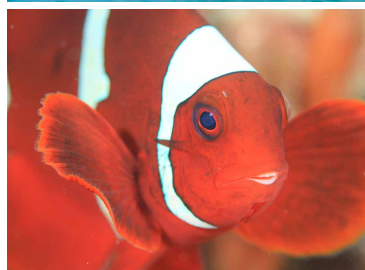
カザリズメダイの和
名がある、パーチー
ダゼルの幼魚



BLUE CORALの大型バ
ンカーボート



海中の浅瀬のサンゴ
には、パープルビュー
ティーなどが群れる



日本にはないスパ
インチークアネモネ
フィッシュ

スミロンで、南の島の 雰囲気を満喫

ジンベエスイム後は、オスロブの沖
に見えるスミロン島へ。ここでは、サンゴ
の上を舞う、パープルビューティーの群れ
なんかをゆっくり眺めて、ゆったりとリラッ

クスダイビング。

ランチタイムには、ボートを
白砂のビーチにダッキングさ
せて、ビーチで記念撮影も楽

しめる。ブルートパーズ色の青い海と空、
もくもくと沸き上がる入道雲が、暖かい南
の島にいることを実感させてくれて、身も
心も開放的になる。



船上でのランチには、
マンゴーやスイカ、パ
イナップルなど、デ
ザート満載

Sumilon

セブ島ボルホーン BLUE CORAL 南セブ支店 始動！

2013 Summer [Cebu island Boljoon]



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link
www.bluecoral.jp/shop_scebu.html

関連情報HPへ



今年からナイトロックシステム導入。疲れ方も違うので、一度試してみてもいい。

南セブ支店に ナイトロック導入

今年1月から、BLUE CORAL マクタン本店に導入されたナイトロックシステム。5月にはこの南セブ支店にも導入されて、常時ナイトロックでのダイビングを楽しめる。とはいっても、特別なダイビングスタイルになるというわけではなく、通常の

エアでのダイビングと同様のダイビングを、ナイトロックを使って、より安全に楽しもうというスタイル。

今のところ、ブレンドできるのは、32%のナイトロックのみ。興味のある人は、事前に問い合わせてみるという。

スミロンの白砂のビーチでジャンプ！



アフターダイブは、リゾート内で何も無い贅沢を楽しむ

STAY

Cebu Club FortMed

クラブフォートメッド

▶▶ cebu-clubfortmed.com

南セブ支店のあるクラブフォートメッドは、セブからだと、ボルホーンの町に入る手前に位置している。BLUE CORALの支店は、敷地内の海に向かって右手奥にある。WIFIは、フロントと食堂、BLUE CORALのショップ内エリアで使用可能。客室は、ホットシャワー、クーラー完備。冷蔵庫のある部屋は2部屋のみ。



クラブフォートメッドのオーシャンビュールームの客室内

Information

DIVING SERVICE

BLUE CORAL

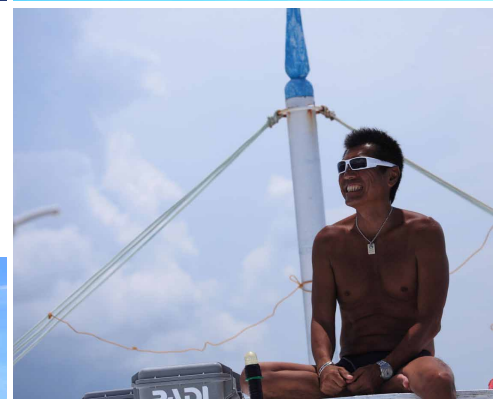
ブルーコーラル

▶▶ www.bluecoral.jp/godive.html

マクタン島のホワイトサンズに本店を持ち、バンカーボート6隻を所有。本店の他、ボホール、ドゥマゲティ、そして今回特集したボルホーンの南セブ支店と3店舗の支店を持つ。他の日系ダイブショップに先駆けて、ナイトロックシステムの導入を進めている。本店には、2013年1月から、南セブ支店では、2013年5月から、本格導入。より安全にダイビングが楽しめるようになった。

南セブ支店からのダイビングポイントは、今回特集したバリカサグ、オスロブ、スミロン、ハウスリーフの他、カシスリーフというポイントが射程圏内。

BLUE CORAL のヒロさん



セブ島ボルホーン BLUE CORAL 南セブ支店 始動！

▶▶ Nitrox